

八戸市議会 第6回議会報告会記録

1. 開催日時・開催場所・参加者数

- (1) 開催日時 平成29年11月26日(日)14時00分開会(15時30分閉会)
- (2) 開催場所 八戸ポータルミュージアム2階「シアター2」
- (3) 参加者数 32名

2. 出席議員

議会・各委員会選出議員 (11名)

	職名	氏名
八戸市議会	議長	立花敬之
議会運営委員会	委員長	小屋敷孝
総務常任委員会	委員長	豊田美好
経済常任委員会	委員長	壬生八十博
民生常任委員会	委員	八嶋 隆
建設常任委員会	委員長	三浦博司
広域連携推進特別委員会	委員長	高山元延
観光振興特別委員会	委員	
港湾・都市基盤整備推進特別委員会	委員	前澤時廣
屋内スケート場・スポーツ文化施設建設特別委員会	委員長	高橋一馬
決算特別委員会	委員長	工藤悠平
議会改革推進委員会	委員長	大館恒夫
希望参加議員 (17名)	久保百恵、岡田 英、日當正男、中村益則、苫米地あつ子 田端文明、冷水 保、夏坂 修、吉田淳一、伊藤圓子 山名文世、古舘傳之助、森園秀一、松橋 知、田名部和義 寺地則行、秋山恭寛	

計 28 名

3. 役割

役 割		担当人数	担 当 者
会 議 運 営	あいさつ	1名	立花敬之
	司会進行	1名	寺地則行
	議会報告説明	3名	①市議会の概要 小屋敷孝、大館恒夫 ②9月定例会の審議概要 工藤悠平
	意見交換	11名	立花敬之、小屋敷孝、豊田美好、壬生八十博 八嶋 隆、三浦博司、高山元延、前澤時廣 高橋一馬、工藤悠平、大館恒夫
受 付	3名	中村益則、苫米地あつ子、田端文明	
マイク渡し	2名	冷水 保、夏坂 修	
アンケート回収	4名	日當正男、岡田 英、久保百恵、秋山恭寛	
録音・報告書作成	2名	豊田美好、高山元延	
資料作成	5名	壬生八十博、藤川優里、小屋敷孝、大館恒夫 工藤悠平	
取材対応	1名	立花敬之	
ポスター・チラシの配布		全 員	
会場準備・後片付け			

4. 議会報告会進行内容

- (1) 開会
- (2) 議長あいさつ
- (3) 出席議員紹介
- (4) 議会報告
 - ① 八戸市議会の概要
 - ② 9月定例会の審議概要
- (5) 意見交換

○テーマ：子育ておよび教育について、災害に強いまちづくりについて
- (6) 閉会

5. 主な質疑

No	参加者からの質疑	議会からの回答
1	<p>○災害に強いまちづくりについて</p> <p>私ども高齢者は、いざ大災害があった場合に、災害に遭われた方に手を差し伸べる立場ではなく、手を差し伸べていただく立場である。このような立場の者にとって、八戸市で作っている避難所運営マニュアルについては非常に問題があるのではないかと思うが、議員の方々はどのようにお考えになっているのか。また、胸を張って、防災に強いまちであると言えるかどうかお聞かせいただきたい。</p> <p>(田面木地区・男性)</p>	<p>最近では、集中豪雨や、6年前の東日本大震災などもあり、胸を張って災害に強いまちだとは言えなくなっていると思う。</p> <p>我々が今一番考えなければならないことは、災害に対して、自助、共助、公助ということで、身近で起きる災害をどのように防ぐかということ。まず、自分の命は自分で守る自助努力。それができない場合に隣近所で助けていただく共助という考え方、普段から立場の弱い方、高齢者の方々をどのように見守って、災害のときに助けるかというような町内会単位の地域のあり方がその次に問題になると思う。そして最後に公助ということで、市役所や自衛隊などが、その次にどういう形で人々を助けるかということになると思う。</p> <p>いろいろな課題はあろうとも、やはり市民が安全に暮らせるためには普段からの備えが大事だろうと思うので、地区の方々や周りの方々を含めて、常にそういうふうな災害のことを想定したり、普段からその努力が必要だということは共に考えていかなければならないだろうと思う。</p>

No	参加者からの質疑	議会からの回答
2	<p>○相談窓口について</p> <p>市に相談に行くと、必ず、あれだからダメ、これだからダメと言われるが、クレームではなく願望として理解し、相談に乗ってほしい。例えば、総務省が500億の予算で、東北・北海道にクラウドコンピュータセンターを設置するという事だったので、ぜひこれに手を挙げてくださいとある課にお願いしたが、課で検討すらしている節が見えず、結局放置されたことがある。このような場合、どこの窓口で相談にいけないのか教えてほしい。</p> <p>(長者地区・男性)</p>	<p>行政の窓口というのは、執行の部分がボリュームとして多い。願望をどう取り入れるかとなると、まさに市議会が窓口であろうかと思うので、市議会を活用していただきたい。</p>

No	参加者からの質疑	議会からの回答
3	<p data-bbox="320 331 762 365">○新大橋の架け替え整備について</p> <p data-bbox="320 387 871 898">新大橋を架け替えするのに10年かかると聞いたが、10年かかるとの経済損失と、また、国や県から借りたとして、その利息の返済とどちらが大きかったのか。それとも、このような公共事業は借金して速やかにやることができないのか。例えば、九州の道路が陥没したとき、1週間くらいで復旧していたが、大事な大橋なら、そのように急いで架け替えることはできないものか。</p> <p data-bbox="336 913 596 947">(田面木地区・女性)</p>	<p data-bbox="900 387 1445 577">一般的に、港湾・漁港の仕事や川の仕事というのは、それぞれ漁業権が入っている。そのことにより、工事の期間が制限されているのが現実である。</p> <p data-bbox="900 600 1445 947">それぞれ内水面の組合が入っており、馬淵川については三戸が漁業権を持っている。今、盛んに鮭が遡上している時期であり、三戸では養殖事業を実施しているため、その期間は工事は中断される。このようなことから、普通の工期より年月を要すると聞いている。</p> <p data-bbox="900 969 1445 1429">建設常任委員会において、人口減少社会の中で、国からの交付金、八戸市が独自に得る税金等の中で賄いながら、大事なライフラインである橋をどのように維持していくか検討した中で、10年という判断に至ったという話があった。同委員会でも10年は長いという認識はあるが、起債も計画的に行われており、工法など技術的な難しさもあるとのこと。</p>

6. 主な意見・要望

No	参加者からの意見・要望	議会からの回答
1	<p>○子育ておよび教育について</p> <p>①一番の幸せは福祉が充実していくことだと思う。子育てということ言うと、文科省の指導があるので、勝手にはできないと思うが、八戸市としてできる範囲でやれば、多少なりとも変わっていきける。フィンランドでは、小学校は授業は午前中だけで午後は授業がなく、宿題もない。それでいて中学に行く成績がぐんと伸びて、世界一の教育水準になる。子どもの間は基本的に詰め込まず、自由にのびのびと育てるのが一番伸びると思う。八戸でそういったものがどの辺までできるのかなと思う。</p> <p>(下長地区・男性)</p> <p>②学力ナンバーワンは、秋田県能代市だが、能代市長に、どうしたら学力が上がるのか聞いたところ、「当たり前のことを当たり前に行っているだけです。学校に来るときは、みんな袋を持ってごみを捨ててきますよ。」ということだった。</p> <p>八戸がどこにも負けないことというのは、あいさつが最高だ、八戸の人はどこに行ってもあいさつをするというのを目標にすれば、お金もかからないし、小さいときから教育すべきだと考えている。ごみは拾うのではなく捨てないように、細かいところからやらないと改革にならないと思う。</p> <p>(根城地区・女性)</p>	<p>①大変いい例を出されたが、日本とフィンランドの教育は根本的な考え方が違っている。フィンランドの場合は、考えさせる力を付けるための教育をしている。日本の場合、指導要領があり、少しずつは工夫されてきているようだが、なかなかフィンランドのようにはなっていないのが実態である。</p> <p>おっしゃられたことは、まさに、フィンランドの子育て支援の根源的な考え方である。八戸市は中核市となり、保健所行政をできるようになったこともあり、「八戸版ネウボラ」として、子育て支援策を実施する予定と聞いている。</p> <p>②貴重なご意見、大変ありがとうございました。</p>

No	参加者からの意見・要望	議会からの回答
	<p>○子育ておよび教育について</p> <p>③八戸市の出生率は1.3%くらいだが、出生率を2.81%まで高めている地域がある。岡山の奈義町というところだが、出生、医療、教育と、切れ目ない支援をしているため、子育て世代が安心感で移住しているとのこと。八戸はというと、待機児童ゼロですというが、中身を見るとそうではない。仮に待機児童ゼロであったら、どういう環境か見てほしい。運動場も少ない、先生も少ないといった状況下にある。待機児童がないのであればその先をやってほしいという思いで各課にお願いに行くが、全然進まない。こういう我々の要望事項がどうやって議会にかかっていくのかということを検討してほしい。</p> <p>(長者地区・男性)</p>	<p>③ぜひ、要望や請願という形でご意見を出していただければ、議会で受付するので、そういう方法もあると思う。</p>

No	参加者からの意見・要望	議会からの回答
2	<p>○市街化調整区域について</p> <p>①学校の生徒が足りなくて学級閉鎖しなければならないような場合には、市街化調整区域でも審議会にかけてそれを認めて、学校の児童が増えるような制度はあるのに、運用が思うように行かない。教育委員会から、審議会にかける判断をする窓口情報が全然流れていない。 (長者地区・男性)</p> <p>②以前、都市計画で市街化区域から市街化調整区域に逆編入した場所について、30年が経過し状況が変化しているので見直してはいかがか。 (長者地区・男性)</p>	<p>①②都市計画についての市街化区域と調整区域という問題は、市も少しずつ見直ししながら、コンパクトシティという考え方で取り組んでいる。</p> <p>都市計画マスタープランの見直しに立地適正化計画を併せた形で、人口減少が避けられない八戸市のまちづくりの計画を今作っているところである。</p> <p>現在、各地区でその懇談会を開いており、そこでの意見を持ち帰って請願の案を作り、議会に提出し、議決という判断をする流れになると思う。</p>
3	<p>○花火大会とお祭りについて</p> <p>①花火大会の打ち上げ本数が5千発だが、それだとどうしても間隔が空いて盛り上がり欠けるのではないか。1万発以上打ち上げられるよう、がんばって寄付を集めてはいかがか。 (下長地区・男性)</p> <p>②三社大祭について、初めて来た人に、博物館などで貸し出ししているような説明（音声ガイド）があると、三社大祭への理解が深まって、より楽しくなると思う。(下長地区・男性)</p>	<p>①花火大会については、実行委員会等もあり、おそらく予算の範囲内でやられていると思うので、ご要望として、申し伝えておきたい。</p> <p>②三社大祭についても、ご要望として、市の方に申し伝えておきたい。</p>

No	参加者からの意見・要望	議会からの回答
4	<p>○税金の使い道について</p> <p>根城6丁目からニュータウンに行くと ころの歩道に草が伸びて、歩道の幅が半分 になっている。また、側溝の蓋の上に何年 も葉っぱが落ち、土になってそこに木まで 生えてきているが、そのような実態を市役 所の人には知らない。春と秋に作業員が来て 除草するが、そのやり方について疑問があ る。どうせ除草するのであれば、秋は種が 落ちる前に除草した方がいいと市役所に 何回も言っているが、改善されない。もう 少し現場を知ってほしい。</p> <p>(根城地区・女性)</p>	<p>関係課、担当部署に、ご意見として、 伝えておきたい。</p>
5	<p>○人口減少と魅力的なまちづくりにつ いて</p> <p>八戸の人口がどんどん減っているが、ど うすれば魅力的なまちになるのか、若者が 残りたいのかということ、多くの若者の 意見を聴取して話し合いをしているのか。</p> <p>年寄りたちがこうした方がいいと言う より、若者を定期的を集めて、どうやっ たら八戸が素敵なまちになるか、そうい う話し合いの場を設けていただきたいと思 う。</p> <p>(根城地区・女性)</p>	<p>関係課、担当部署に、ご意見として、 伝えておきたい。</p>

No	参加者からの意見・要望	議会からの回答
6	<p>○八戸共通商品券の活用について</p> <p>私のはちのへ共通商品券協同組合の理事長を務めているが、お願いを申し上げたい。この共通商品券は、地域経済の活性化、地域内の経済の循環ということで、地産地消を中心とした八戸商工会議所中心の「Buy はちのへ運動」の中心になっている。他の地域では、この共通商品券を、行政で補助とか、福祉のお手伝いなどに活用し、年間何千万という共通商品券を活用してもらっているが、ぜひ、八戸の経済のために、なんとかいろんな分野で活用していただきたい。皆様からも幅広い活用について応援していただきたい。</p> <p>(はちのへ共通商品券協同組合・男性)</p>	<p>商品券のお願いと、八戸のものを買いましょうという「Buy はちのへ運動」を商工会議所でやっているそうなので、八戸の経済のためにも、そのようなことを皆様にも、議員の皆様にもお願いしたいということでした。ありがとうございました。</p>

7. アンケート結果 別添資料のとおり